



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位
多治見市政記者クラブ同時配布資料

令和5年1月11日(水) 岐阜県発表資料		
担当課	担当者	電話番号
東濃県事務所環境課	課長 大塚和彦	代表 0572-23-1111 (内線 212) FAX 0572-25-0079

多治見市^{おおはりちょう}大針町地内における土壤汚染について (第2報)

多治見市大針町地内における土壤汚染については、第1報を、令和4年12月16日(金)及び19日(月)にお知らせしたところです。このことについて、「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき、調査対象範囲内にある井戸2本の水質検査を実施したところ、すべての井戸が地下水環境基準に適合していることを確認しましたのでお知らせします。

1 周辺井戸水の検査結果

[採水日] 令和4年12月26日(月)

[結果確認日] 令和5年1月11日(水)

[分析機関] 県保健環境研究所

項目	検査 検体数	基準超過 検体数	調査結果 (mg/L)	地下水環境基準 (mg/L)
ヒ素	2	0	すべて0.005未満	0.01以下
ふっ素	2	0	すべて0.08未満	0.8以下

2 井戸の利用状況調査結果

検査を行った井戸は、すべて飲用利用されていました。

3 今後の対応

- (1) 今回水質検査を実施した井戸の所有者に対して、検査結果をお知らせします。
- (2) 事業者に対し、汚染土壌の適正な管理等を行うよう指導します。



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位
多治見市政記者クラブ同時配布資料

令和4年12月19日(月)岐阜県発表資料		
担当課	担当者	電話番号
東濃県事務所環境課	課長 大塚和彦	代表 0572-23-1111 (内線 212) FAX 0572-25-0079

多治見市^{おおはりちょう}大針町地内における土壤汚染について

東海旅客鉄道株式会社が中央新幹線第一中京圏トンネル(大針工区)の非常口トンネル掘削工事に伴い発生した土壤を調査したところ、土壤汚染対策法に規定する土壤溶出量基準を超えるふっ素が検出されたため、本日(12月19日)、同社から東濃県事務所に報告がありました。

1 報告内容

(1) 調査地点

多治見市大針町地内

(2) 調査結果の概要

土壤溶出量調査

項目	調査検体数	基準超過検体数	調査結果(mg/L)	土壤溶出量基準(mg/L)	基準超過倍率
ふっ素	1	1	1.2	0.8以下	1.5倍

※非常口トンネル開口部から約50mの地点

※ふっ素以外の有害物質7項目についても調査を実施していますが、基準超過はありません。

2 汚染の原因

自然由来による汚染の可能性が高いと考えられますが、現時点では不明です。

なお、周辺にふっ素を使用する工場・事業場はありません。

3 今後の対応

(1) 周辺地下水調査について

今後も工事の延伸に伴い、基準値を超えてふっ素が検出される可能性があるため、県は、多治見市の協力を得て、基準超過地点から本線トンネル接続地点までの区間(約950m)において、「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき、半径250mの範囲内で井戸水の利用状況調査及び水質検査を実施します。

(2) 地域住民への情報提供について

周辺地域は上水道が普及していますが、井戸水を利用している場合は、結果が判明するまでの間、飲用自粛を呼びかけます。

(3) 汚染土壤の対策について

汚染土壤の適正な管理等を行うよう指導します。

○参考

【ふっ素】

ふっ素は、今日、最も需要が多いのは代替フロン^①の原料としての用途と考えられます。

また、ふっ素は、地殻の表層部には重量比で0.03%存在し、自然界では様々な元素と結合した化合物として存在しています。環境中では主に水中に存在し、温泉水や火山地帯の地下水には高濃度のふっ素が含まれていることがあります。

ふっ素を継続的に飲み水から体内に取り込むと、斑状歯（歯に褐色の斑点や染みができた状態）になることがあります。

参考：化学物質ファクトシート-2012年版-（環境省発行）



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位
多治見市政記者クラブ同時配布資料

令和4年12月16日(金)岐阜県発表資料		
担当課	担当者	電話番号
東濃県事務所環境課	課長 大塚和彦	代表 0572-23-1111 (内線 212) FAX 0572-25-0079

多治見市^{おおはりちょう}大針町地内における土壤汚染について

東海旅客鉄道株式会社が中央新幹線第一中京圏トンネル(大針工区)の非常口トンネル掘削工事に伴い発生した土壤を調査したところ、土壤汚染対策法に規定する土壤溶出量基準を超えるヒ素が検出されたため、本日(12月16日)、同社から東濃県事務所に報告がありました。

1 報告内容

(3) 調査地点

多治見市大針町地内

(4) 調査結果の概要

土壤溶出量調査

項目	調査検体数	基準超過検体数	調査結果(mg/L)	土壤溶出量基準(mg/L)	基準超過倍率
ヒ素	1	1	0.011	0.01以下	1.1倍

※ 非常口トンネル開口部から約40mの地点

※ ヒ素以外の有害物質7項目についても調査を実施していますが、基準超過はありません。

2 汚染の原因

自然由来による汚染の可能性が高いと考えられますが、現時点では不明です。

なお、周辺にヒ素を使用する工場・事業場はありません。

3 今後の対応

(4) 周辺地下水調査について

今後も工事の延伸に伴い、基準値を超えてヒ素が検出される可能性があるため、県は、多治見市の協力を得て、基準超過地点から本線トンネル接続地点までの区間(約960m)において、「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき、半径250mの範囲内で井戸水の利用状況調査及び水質検査を実施します。

(5) 地域住民への情報提供について

周辺地域は上水道が普及していますが、井戸水を利用している場合は、結果が判明するまでの間、飲用自粛を呼びかけます。

(6) 汚染土壤の対策について

汚染土壤の適正な管理等を行うよう指導します。

○参考

【ヒ素】

ヒ素は、金属と非金属の両方の性質を持つ半金属元素であり、合金の添加材（硬さを高めるため）、半導体の原料、ガラスの消泡剤や脱色剤、花火の着火剤、塗料用の顔料、木材の防腐剤等に使用されています。

また、ヒ素は、地殻の表層部には重量比で0.0005%存在し、水中や土壌中、岩石、大気中に広く存在しています。ヒ素に汚染された井戸水の飲用による慢性の中毒症状としては、皮膚の角質化や色素沈着等が報告されています。

参考：化学物質ファクトシート-2012年版-（環境省発行）